

2024年度事業報告書

(自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)

事業の概要

1. 奨学事業	132,438千円
(1) 奨学給付費	計 118,000千円
(国内大学)	
① 大学生に対し、月額50千円の奨学金を支給した。	
(53人 × 50千円 × 12ヶ月 =	31,800千円)
(2人 × 50千円 × 6ヶ月 =	600千円)
(2人 × 50千円 × 3ヶ月 =	300千円)
	早期卒業/休学 休学/中退
② 大学院生に対し、月額60千円の奨学金を支給した。	
(57人 × 60千円 × 12ヶ月 =	41,040千円)
(2人 × 60千円 × 6ヶ月 =	720千円)
(1人 × 60千円 × 5ヶ月 =	300千円)
	休学 休学
③ 外国人留学生に対し、月額100千円の奨学金を支給した。	
(20人 × 100千円 × 12ヶ月 =	24,000千円)
(海外大学)	
① 欧米圏の大学生に対し、月額70千円の奨学金を支給した。	
(11人 × 70千円 × 12ヶ月 =	9,240千円)
(3人 × 70千円 × 12ヶ月 =	2,520千円)
(1人 × 70千円 × 4ヶ月 =	280千円)
	アメリカ ヨーロッパ
② アジア圏の大学生に対し、新たに月額30千円の奨学金を支給した。	
(9人 × 30千円 × 12ヶ月 =	3,240千円)
(11人 × 30千円 × 12ヶ月 =	3,960千円)
	タイ ベトナム
(2) 奨学生補導費	計 14,438千円
① 採用された奨学生を対象に、7月に認定式・研修会（大阪）を実施し、理事及び選考委員が出席して奨学生を激励した。	
② TOKYO PACK（国際包装展）の開催に合わせ10月に研修会（東京）を実施し、包装に関する最新の研究開発動向や情報を入手するとともに、奨学生主体のワークショップを行った。また、懇親会時には、卒業生も交えた奨学生交流会を行った。	
③ 次年度に就職活動を開始する学生を対象に、10月に就職セミナーを開催し、就職活動に関するアドバイスをを行った。	
④ 9月～10月にかけては、タイ・ベトナム・ポーランド・アメリカ各地にて、海外奨学生向けのワークショップを行い、グループワークや工場見学などを実施した。	
2. 研究助成事業	91,780千円
(1) 研究助成費	計 90,000千円
① パッケージ分野における調査研究を行う研究者に対し、助成金の支給を行った。	
(37人	計 90,000千円)
(2) 研究助成発表費	計 1,780千円
6月に認定式を、11月に研究成果報告会を実施した。	
3. 事業運営費	計 39,374千円
事業費合計 263,593千円	